

令和2年度 授業改善推進プラン（課題分析と授業改善策）

教科名	国語科
-----	-----

学校番号 12 学校名 貫井中学校

課題分析	授業改善策	改善状況
<p>&lt; 1 学年 &gt;</p> <p><b>【定期考査の結果】</b></p> <p>○「書く能力」が不足している生徒が多く見られた。文章中から書き抜く問題や、文章を読んで問いに答える問題などは比較的正答率は高かったが、自らの考えを文章として言語化する問題が苦手な生徒が多いという結果となった。</p> <p><b>【生徒の実態から見える課題】</b></p> <p>○普段の授業から文章を書くということに慣れておき、書く能力の向上を図る必要がある。</p>	<p><b>【書く能力の向上】</b></p> <p>○定期的に自らの考えを書く課題を「作文プリント」を用いて行い、単元の最後に自らの考えを文章にし、生徒同士で交流する活動を設けることで、書く習慣をつけると共に書く能力の向上を図る。</p> <p>○授業に関するものだけでなく、日常的な疑問などを書かせることで、作文の苦手意識を取り除き、書く活動を楽しみながら行わせるように工夫する。</p>	
<p>&lt; 2 学年 &gt;</p> <p><b>【定期考査の結果】</b></p> <p>○「知識・理解」の項目における個人差が大きい。しっかりと理解して身に付けている生徒はそれなりにいるが、漢字・語句・文法などで覚えておくべき知識が定着していない生徒が多くみられた。</p> <p><b>【生徒の実態から見える課題】</b></p> <p>○6月の学校開始時から、漢字の読み書きと語句の小テストを継続的に行っているが、そこでの間違いを修正しようという意欲に欠ける。</p>	<p><b>【語彙力・言語的知識の向上】</b></p> <p>○小テストの解説内容を解答にメモして、定期考査に向けて再度学習の機会を設けるといった方法がやっとなり定着しつつあるので、それをさらに徹底していく。</p> <p><b>【聞き取り、理解する力の向上】</b></p> <p>○6月以来、「授業で気がついた点をメモする」ということを徹底して指導している。まだ定着度は低いですが、意識改革をしていきたい。</p>	
<p>&lt; 3 学年 &gt;</p> <p><b>【定期考査の結果】</b></p> <p>○「言語に関する知識・理解」の内容、漢字、語彙等をよく理解している生徒が多い。一方、読み取ったことを簡潔にまとめる力に課題がある。</p> <p><b>【生徒の実態から見える課題】</b></p> <p>○授業時の取り組みを見ていると、本文から必要なことを抜き出して終わってしまう生徒が多い。内容を短く書きまとめる、内容から作文することに重点を置いた指導が必要である。</p>	<p><b>【深い学びの充実】</b></p> <p>○「自分の考えを書き、他者の考えを聞き、もう一度自分の考えを書く」ということを繰り返すことにより、より多角的に物事を見ることができるようになる。</p> <p>○毎授業の終わりの「もう一度自分の考えを書く場面」（振り返り）の充実を図る。これが充実することにより、思考の深まりを実感させ、書きまとめる力、作文力につなげていきたい。</p>	